

【実施主体】ドーコン・北海道大学共同提案体

【タイトル】社会的影響評価による持続可能な道路橋マネジメントスキームの提案業務（モデル構築地方公共団体：静岡県静岡市）

①調査概要

【調査の目的・内容】静岡市の管理する約2,600の道路橋を対象に、将来の集約・再編等を見据えた戦略的な道路橋マネジメント手法を検討するものである。

【解決される課題】社会的影響評価指標に基づく道路橋のグループ化と、管理施策等のグループ別の道路橋マネジメント手法を検討し、実行を担う維持管理体制としての包括的民間委託のスキームを提案する。静岡市の道路橋を対象に実施することで、他都市での展開に向けた課題や条件、効果を整理する。

②実施方針・フロー

【集約・再編等計画立案】

- ・橋梁健全度の可視化：オープンデータを活用した、計画策定のためのGISによる可視化の実施。
- ・橋梁のグループ化：道路網における対象橋梁の重要度(ニーズ)等の社会的影響評価指標による、橋梁のグループ化を実施。

【道路橋マネジメント手法立案】

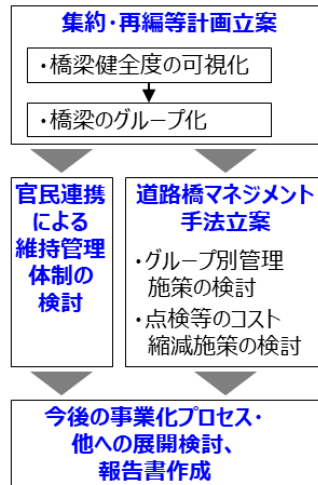
- ・グループ別管理施策の検討：グループごと『メリハリのある管理』施策の検討。
- ・点検等のコスト縮減施策の検討：LCC縮減へ向けた新技術等の導入可能性の検討、提案。

【官民連携による維持管理体制の検討】

包括的民間委託による事業スキームの提案。

【今後の事業化プロセス・他への展開検討】

事業化や他都市への横展開の課題等整理。



④スキームの概要

集約・再編等計画立案

橋梁健全度の可視化

- ・橋梁の定期点検データのほか、対象橋梁に関する人口や周辺施設立地等の社会的指標をGISにより可視化。

橋梁のグループ化

- ・全ての道路橋を一律に維持管理する「現 長寿命化修繕計画」から脱却し、持続可能な道路橋マネジメント手法（『メリハリのある管理』施策）の立案に向けて、静岡市管理の約2,600橋のグループ化を実施。

道路橋マネジメント手法立案

グループ別管理施策の検討

- ・静岡市管理の約2,600橋のグループ化した結果に基づき、グループごと架橋年数や健全度等の橋梁データを重ね合わせながら、『メリハリのある管理』施策を検討。
⇒将来の人口配置や土地利用に合わせた、集約・再編（縮退）等による「橋梁ストックの適正化」実現に寄与。

点検等のコスト縮減施策の検討

- ・橋種や現地条件に応じた、UAV・センシング技術による点検の省力化・効率化の導入可能性を提案。
⇒先進技術適用時の点検等におけるLCC縮減を整理、維持管理体制（委託スキーム）の検討に反映。

③モデル構築地方公共団体概要

【静岡市の概況】

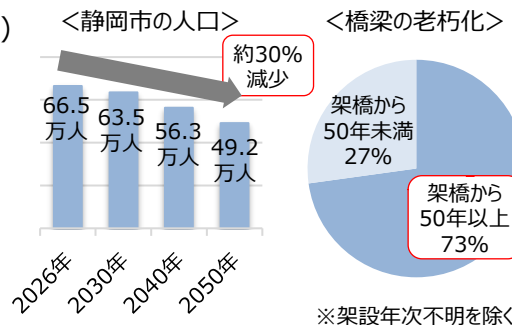
- ・人口：約66.5万人(2026/3)
- ・面積：1,411.93km²

【立地特性】

北は南アルプスから南は駿河湾に至るまで、豊かな自然環境を有しながら、温暖な気候に恵まれている。

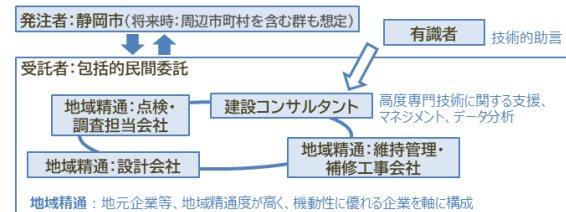
【管理道路の概況】

- ・道路延長：約3,200km
- ・道路橋：約2,600橋



官民連携による維持管理体制の検討

- ・静岡市の戦略的な道路橋マネジメント手法の確立に向けて、実行性・持続可能性を確保したプロセスや事業者等の包括的民間委託による事業スキームを提案。



今後の事業化プロセス・他への展開検討

- ・将来時のライフサイクルコスト(LCC)の縮減に向けた検討、集約・再編(縮退)等の合意形成に向けた施策案を検討。
- ・他の地方公共団体への「横展開」を図る課題等を整理。